

## 「ユーモア」を持って育てる



太田東西ブログ読者のみなさんをご存知だと思いますが、  
今年『小学生オルク』やっています。

オルクって何？

ORCと書いて、オルクと読むんですが、オチコボレ（Otikobore）  
リハビリテーション（Rehabilitation）センター（Center）の略です。

早い話、成績があんまりパツとしない子どもたちのための  
ボランティア学習塾ということです(笑)

これまで中学生の高校受験を主にやっていましたが、小学生は初。  
わからせる、教えるって、ホント難しいですね！（泣）

さて、7月にはショッキングな事件が佐世保で起こりました。

帰省した息子から聞きました。

「太田は長崎出身だったよな？ また長崎で生徒どうしの殺人事件が起こったみたいだぞ」 大学の先輩から言われたと・・・

「また長崎で」

長崎人として、とても不名誉なことですね・・・

学校関係者の方々が、「前の事件から10年、これまで命の教育に全力を挙げて来たのに、どうして？」といったコメントを出していましたが

私から言わせれば、

学校が、教師が、何をセンチメンタルになっているんですかっ！

原因は学校よりも家庭、先生よりも親のほうでしょう！！

識者学者の方々は、事件の背景を専門的に分析して解説されています。

加害者はサイコパス（反社会性人格障害者）の可能性がある。特に前頭葉の機能低下が顕著であり、共感、愛情、思いやりに大きく欠ける気質を有する。学業は優秀なことが多く、健常人と見分けがつかない。人口の数%存在する。

ええ～～～っ、そのサイコパスって、もっというんじゃないですか？

共感、愛情、思いやりに大きく欠ける『自己チュー夫』にお悩みの奥さま方、結構、太田東西薬局にいらっしゃってますけど・・・(笑)

そんな難しい理屈よりも

昔の格言に真理があると私は思います。

「子は親の鏡」

「親の因果が子に報う」

親の考え方生き方が、子どもの人格人間性に投影される。

だから、親は死ぬまで子どもの見本となる「恥じない生き方」をする責務があるのだと。

漢方相談に従事しておよそ20年。

子どもの犯罪に限らず、『子どもの病気』も、親の、家庭の問題が関与していると私は考えます。

子どもがぜんそくの発作を度々起こすのは、子どもが登校前にお腹が痛くなるのは、子どもが不登校になり引きこもってしまったのは・・・  
子ども自身、子ども一人だけの問題でしょうか？

太田東西薬局は根本から解決する場所なので、親御さんに問診しています。

「ご家庭に、笑いはありますか？」

「夫婦仲は、いかがですか？」

「あなたは今、幸せですか？」

かの佐世保のご家庭はどうだったのでしょうか？

高学歴、高収入、地元の名士でご両親ともに教育の現場でご活躍されている立派な人だったようですが、皮肉にも、我が子のことはわからなかった。わからなかったというよりも、子どもの問題から親が“逃げていた”のではないのでしょうか？

世のため人のために一生懸命だったのは事実かもしれませんが、それは我が子から「逃げていた」「目をそむけていた」行動だったのかもしれない。

加害者のサイコパスは生まれつきなのか？ それは先天的なもので、どんなに親から愛されても、後天的には消せないものだったのか？  
ならば、サイコパスの子どもを持った親が気の毒だったというのか？

食べるにも、着るにも、お金にも困らない、何不自由ない生活。  
なのに、なぜ「心の闇」が少女に生じたのか？

加害者の両親は勉強・スポーツという、結果が「目に見える」教育は熱心でも反省、いたわり、思いやりといった「目に見えない」心の教育は不得手だったのかもしれませんが。自分の、家系の「プライド」が邪魔をして。

その点、オルクのお母さんたちは、恥も外聞もないから最高です！(笑)  
「頭の良い、格式ある家と思われたい」 そんな見栄がありません。

そしてオルクの“オ”は、お母さんの“オ” でもあります！  
お母さん リハビリテーション センター

「こんなやさしい問題もわからないの！」「何回同じ間違いするの！」  
「なによ、その態度は！」「もう、勝手にしなさいっ！」  
つい、我が子にイライラして爆発してしまう・・・  
そのお母さんのリハビリ施設が、ここ太田東西薬局ということね！(笑)

私はこれまで、このかわら版やブログを通じて、何度も提唱してきました。  
家族が幸せになりたかったら、「家の風通しを良くすること」だと。  
恥ずかしがらずに、窓を開けて、全部オープンにして相談する。  
新しい新鮮な風（人、考え方、智慧）を、家の中に招き入れる。

そして日々の生活の中で、常にユーモアを忘れないことだと。  
そのために「健康」と「自分を高めていく努力」が必要なんだと。  
そのために太田東西の漢方相談があるんだと。

えっ？ 太田家には、そのユーモアあるのかって？

はい、みんなノリいいですよ！

今年のお盆は帰省した息子らと3世代で、“人間精霊馬”撮りました～



ご先祖さまにも、“ユーモアを持って” 供養しました～(笑)